



2015 BGR

飢えを
救おう

ウォーキングの日に参



buddhist global relief

宣言

飢餓は、年齢、人種、性別、職業の有無、家族のサイズの違いを超えて人々を苦しめている全世界の重要な課題である。

世界で約8億の人が常に飢えと栄養失調で喘いでいる。

そしてまた毎年3億10万人の子供が栄養不足で命を落としている。

毎年恒例のイベント、『飢えている人を救おうウォーキング』は、貧しさに喘いでいるこのような人々の苦しさに思いを馳せ、世界に飢餓がなくなるようにという思いを高めるものである。

地球に住む人々の永続的な飢餓と栄養失調の課題に取り組み、その人々を救おうと尽力されている仏教徒の皆さんにサンフランシスコ市は心から敬意を表すものである。

ここにおいて、サンフランシスコ市長、エドウィン M リーは2015年10月24日を、サンフランシスコの『飢えを救おうウォーキング』の日と告示する。